

～航路探鳥について～



1. 持ち物について

- ・快適な航路探鳥のために酔い止めは必ずお持ち下さい。
- ・海で太陽の照り返しが強い時もあるため、気になる方は日焼け止めを。
- ・船内にレストランがありますが営業時間が限られることや、観察しながらの食事がオススメのため、朝食・昼食の準備が好ましいです。
- ・船内には自販機（飲み物・カップ麺・ホットスナック）もございます。
- ・観察デッキには手すりがありますので、荷物をぶらさげるように「Sカン」がオススメです（大きめのものが良いです）（写真1参照）
- ・長時間の観察となりますので、折りたたみイスがあると便利です。周りの方のためにも、大きすぎない折りたたみイスが望ましいです。
- ・船内の設備については東海汽船HPをご確認ください。

(<https://www.tokaikisen.co.jp/ourship/tachibana-room/>)



2. 服装について

- ・船は常に移動しているため観察場所のデッキでは常に風が吹いている状態です。服装については冬物の服装と、風と波しぶきを防げるようウインドブレーカーやカッパなど防水と防風機能のあるものが望ましいです。また、髪の毛の長い人は髪を縛る・帽子を被る（帽子はニット帽などがオススメ）など対策をお願いします。
- ・手袋、ネックウォーマー（マフラー）もご用意を。



3. 観測用具について

- ・海上の状況によってはデッキ内に大きな波しぶきが入ってくることがあります。このため、双眼鏡は防水機能を持ったものが望ましいです。
- ・カメラを持参の方は、カメラとレンズをゴミ袋でくるむ・ビニールで覆うなど防水対策をお願いします。風が吹いているため、ゴミ袋やビニールはカサカサと音が鳴るものだとうるさくなります。カメラ用レインカバーもオススメです。※携行品保険には加入していません。
- ・スコープ、カメラで三脚を使われる方は、三脚とデッキの柵をロープ・マジックテープなどでしっかりとくくりつけてください。
※ただし、橋丸はエンジンの振動で三脚撮影は不向きですので推奨しません。



写真1 Sカン



写真2 防水対策のカメラ



写真3 橋丸